

町制施行40周年を迎えて



明治22年に現在の12の大字が合併してできたかつての大治村は、人口4,600人余りの純農村地域でした。昭和30年代の高度経済成長に伴い、名古屋市近郊の良好な住宅地として都市化が進み、人口は1万7千人余りに急増し、町としての要件に適合するようになったことから、昭和50年4月1日に町制施行いたしました。

それから40年。名古屋津島線バイパスの開通による交通利便性の向上、公共下水道整備による生活環境の改善、総合福祉センターを拠点とした福祉施設の充実などにより、人口3万1千人余りのまちへと発展してまいりました。これもひとえに町民の皆様のご尽力の賜物と深く感謝しております。

この40年という節目の年をさらなる飛躍へのスタートの年と位置づけ、町民、事業者、行政、各種団体など多くの皆様と協働でさまざまな記念事業を町を挙げて実施することで、大治町民でよかった、これからも大治町に住み続けたいと思っていただきたいと思います。

まずは、キックオフイベントとして5月27日(水)の「チャレンジデー2015in大治」を実施することで、町民の皆様の健康・体力づくりのきっかけとなる機会を提供し、健康増進に対する意識を高めていただくとともに、町民相互の交流と親睦を深め、地域の活性化につなげていきたいと考えておりますので、皆様のご参加をお待ちしております。

今後も、「笑顔あふれ みんなで育む 元気なまち おおはる」の実現に向け、町民の皆様との協働によるまちづくりを推進してまいりますので、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

大治町長 村と昌生

